第一中学校の生徒がまちをきれいにしています！

第一中学校の生徒がボランティア活動として率先して行っている、「地域清掃」の様子を紹介します。

毎朝7時30分から行っている地域清掃。この活動は、第一中学校の生徒がボランティア活動として2年前から行っているものです。

地域の方と一緒に、学校周辺や商店街、近隣の公園に落ちているゴミを拾い集め、時にはゴミ袋が何袋もいっぱいになることも。参加している生徒たちは「みんなでまちをきれいにすれば、気持ちよく過ごせると思います」と話していました。

▲一中周辺とジョイフル三ノ輪、近隣の公園も清掃しています

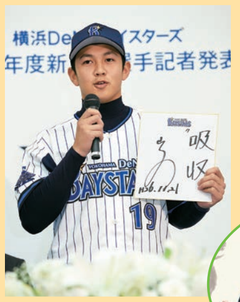
▶小さなゴミも丁寧に拾います

横浜DeNAベイスターズ ドラフト1位指名 山﨑康晃選手 おめでとう！

すみちゃん

11月5日、横浜DeNAベイスターズにプロ野球ドラフト会議1位指名で入団した山﨑康晃選手が、西川区長を表敬訪問しました。

山﨑選手は西日暮里出身。第六日暮里小、尾久八幡中に通い、区内の少年野球チーム・西日暮里グライティーズに所属していました。プロ野球選手になることが夢だった山﨑選手は、「子どもの頃から野球選手に憧れて、区内の野球場で練習をしてきました。頑張ったら夢は必ず叶うんだ！という強い気持ちを持って、みんなも一生懸命頑張ってください」と力強く話していました。



▲ユニフォームを着て気合十分！頑張れ山﨑選手！
©YDB

◀「『荒川の山﨑』と言われるように頑張ります！」と話す山﨑選手(左)と激励する西川区長(右)

懐かしいあの日あの時 想い出写真館 No.20 夏のこども会

あらみぃ　あら坊

夏休みの期間中、区内の学校を巡って開かれた「こども会」の様子。区内の学校10カ所で、紙芝居や人形劇、歌あそび等を子どもたちが楽しみました。この写真が撮影された昭和32年当時、区内の小学校に通う児童数は約3万人もいました。

▶昭和32年に撮影されたこども会の様子。後ろに写っている校舎は、この時の会場だった第三峡田小学校

みんなも探してみよう！ 荒川自然公園で見つけた！ 冬の生き物たち

あっくん

第二峡田小学校6年生のジュニア記者3人が、冬の生き物を観察しに「荒川自然公園（荒川8―25―3）」へ。池や林の中、落ち葉の下などを探して、冬も元気に過ごすたくさんの生き物を見つけました。

冬の生き物探しに出発！

日本にやって来る渡り鳥を見つけたよ

荒川自然公園によく遊びに来るというジュニア記者。でも、冬の生き物探しは今回が初めて。早速、「白鳥の池」で渡り鳥のキンクロハジロとオナガガモを発見しました。「胸の部分が膨らんでいるよ」とジュニア記者が気付くと、環境課・本間幸治さんが「鳥は胸にたくさん筋肉が付く体になっているから、膨らんで見えるのかもしれないね。その筋肉で、何千キロも飛んで日本に来るんだよ」と説明。小さな体に秘めた力を知り、感心していました。

また冬の間、鳥たちの食べものになる、クロガネモチの実やケヤキの実、スダジイの実も観察。「ケヤキの実を初めて知った」と言うジュニア記者は、小さなケヤキの実探しに挑戦。すると「あった！」と歓声を上げて次々と見つけていました。さらにスダジイの木では、ちょうどハトが実を食べている場面に遭遇。その様子を、双眼鏡で詳しく観察しました。

花の蜜は虫や鳥の貴重な食べものに

林の中では、冬に咲く花・ツワブキやカンツバキを観察したり、形の違うたくさんのドングリを発見。中には地面にくっつき、芽を出しているものがあり、ジュニア記者が引っ張ると、根が地中深く伸びていてビックリ。ドングリが木の種であることを、改めて実感しました。

冬の間、じっと休んでいるように見える自然も、よく見ると生き物たちが元気に活動しています。みんなも公園や身の回りにある自然の中で冬の間に見ることのできる生き物たちを探してみませんか。

▲▶ヒヨドリなどの鳥たちの食べ物になるクロガネモチの実。真っ赤な色が冬の景色を鮮やかに彩ります

冬の昆虫観察園・オオムラサキ観察園を探検！

冬は入ることのできない観察園の中を、特別に見せてもらいました。腐葉土の入った大きな囲いの中では、カブトムシの幼虫がすくすくと成長中。オオムラサキ観察園では、小さな幼虫がエノキの葉の上にいました。葉が落ちる頃に、地面に降りて落ち葉の下で越冬します。

▲みんなカブトムシが大好き！　掘り出した幼虫を手にのせて大喜び。ゆっくりと動き出す幼虫を観察しました

▼冬を越えて来年の夏には立派な成虫になります。ぜひ昆虫観察館に見に来てください

▼冬を越すと再びエノキの葉を食べ、成長してサナギになり、7月頃に美しいチョウに変身します

▲まだ2～3センチ位のオオムラサキの幼虫。この時期は落ち葉の色に似せて体の色を薄茶色に変えているようです

▼葉と一緒に風に飛ばされて落ちるケヤキの実。プロペラのように落ちて広い範囲に実が飛んで行きます

▲落ち葉の中からケヤキの実を発見。「鳥たちがこの実を一所懸命に探すんだよ」と本間さん。初めて見たジュニア記者は、その小ささにビックリ！

▼木の実を食べによくやって来るヒヨドリ

木の実を食べにたくさんの鳥が来ているんだ

▲木の実を観察するジュニア記者

▲取材のため特別に林の中でドングリ拾い。園内ではクヌギ(左上)、スダジイ(右上)、マテバシイ(左下)、アカガシ(右下)のほか、コナラ、ウバメガシ、シラカシのドングリが見られます

いろいろな種類のドングリがあるよ

▼木の名札プレートをめくると裏側にヤモリを発見。冬は物かげでじっとしています

公園で2匹も見つけたよ

◀▲コブハクチョウの近くに渡り鳥のキンクロハジロ（写真左）とオナガガモがいました

スズメもお風呂に入るよ

▲あらかわエコセンターの畑で砂浴びをする様子。土のへこみが見えます

▶砂に体全体をこすりつけます。気持ちが良いのか何度も何度も繰り返しています

スズメは砂のお風呂が大好きです。砂地などでバタバタと激しく羽を動かして砂浴びします。これは体に付いた寄生虫などを落とすためと言われています。「あらかわエコセンター」の畑にも、たくさんのスズメたちが砂浴びをしにやって来ます。そのかわいい様子をぜひ、動画で見てください。

◆スズメの砂浴びを見てみよう！

荒川区　スズメ　砂浴び　検索

＊動画はパソコンから、荒川区ホームページ内（アドレスは1面下参照）で見ることができます

教えてほしい！植物のヒミツ Q&A なぜ冬になると葉っぱが落ちるの？

まちぞう

葉は、植物にとって、とても大切なものなんだ。春から秋は、太陽の光を受けて光合成を行い、成長に必要な栄養を作っているんだよ。でも、気温が下がる冬になると、葉をつけていると体力を維持できなくなり、生きていけなくなる。そこで成長を止め、葉を落として休眠するんだよ。この時に、葉の中の色素に変化が起こり、葉はさまざまな色にきれいに紅葉するんだ。また古い葉を落とすことで、要らないものをすてるという効果もあるようだよ。一方で、冬になっても葉を落とさないように見える木もあるよね。松などの常緑樹は葉を落とさないということではなく、葉を落とす時期と条件が落葉樹とは違うため、目立たないだけなんだ。